

不思議現象信奉と批判的思考の関連に関する検討： 測定尺度の改訂

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-01-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: KAWAKAMI, Masahiro, SAKATA, Hiroyuki メールアドレス: 所属:
URL	https://osaka-shoin.repo.nii.ac.jp/records/4047

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



不思議現象信奉と批判的思考の関連に関する検討：測定尺度の改訂

学芸学部 心理学科 川上 正浩

学芸学部 心理学科 坂田 浩之

本研究の目的

筆者らは一連の研究の中で、不思議現象に対する態度尺度 (APPlE SE/30: 坂田他, 2012) を構成しているが、この下位尺度である“懐疑”尺度に関しては、批判的思考態度尺度との相関も低く、多義的な尺度となっている可能性も指摘される。そこで本研究では、批判的思考に基づく懐疑と、盲目的な否定とを分離可能とする新たな不思議現象に対する態度尺度の構成を意図し、特に不思議現象に対する懐疑や否定にまつわる態度を多面的に測定可能な尺度の開発を行う。

方法

調査対象者 大学生 235 名 (男性 31 名、女性 204 名；平均年齢：19.2 歳、SD = 2.5) が調査に参加した。

調査内容 主に批判的思考的な懐疑や盲目的な懐疑、批判を区別することを意図し、85 項目を新たに作成した。これらに APPlE SE/30 の 30 項目を加え、計 115 項目 (5 件法) からなる質問紙を作成した。

手続き 調査は各大学での授業時間内に実施された。

結果と考察

全項目を対象に因子分析を繰り返し、10 因子解 (73 項目: 表 1) を採用した。第 1 因子はメディアで喧伝される不思議現象に対する懐疑である“懐疑”因子、第 2 因子は神仏や霊の存在を信奉する“スピリチュアリティ信奉”因子、第 3 因子は不思議現象を楽しむ態度である“娯楽的享受”因子、第 4 因子は占いやおまじないを嗜好する“占い・呪術嗜好性”因子、第 5 因子は自ら知覚する社会的現実を根拠に宇宙人や霊の存在を否定する“社会的現実を根拠とした否定”因子、第 6 因子は霊体験の有無を表す“霊体験”因子、第 7 因子は血液型性格判断に端を発する社会的問題を危惧する“血液型性格判断に対する批判”因子、第 8 因子は事件の件数等の事実に基づき、霊や霊能力の存在を否定する“事件の頻度を根拠とした否定”因子、第 9 因子は不思議現象に対する恐怖である“恐怖”因子、第 10 因子は問題の原因を前世に帰属することに對する否定的な“前世帰属に対する否定”因子であると解

釈された。以上の 10 因子は、旧尺度の 6 下位尺度に、社会的現実を根拠とした否定、血液型性格判断に対する批判、事件の頻度を根拠とした否定、前世帰属に対する否定の 4 下位尺度を加えたものであると解釈できる。

* この研究は、日本心理学会第 79 回大会において発表された。

表 1 因子分析表

Table with 10 columns (I-X) and rows for each of the 10 factors, listing items and their factor loadings.